内山美穂子 議員
（拓政会）

問 町の活性化に向けた「ふるさと納税型クラウドファンディング」の活用を

答 多くの方々から広く共感を得られる事業を実施する場合に活用を検討する

問 総務省は、過度の返礼品競争を是正して「ふるさとを応援する」という本来の趣旨に戻すために制度を見直した。今後は返礼品事業だけではなく、具体的な活用事例を発信することで多くの人の共感を得て、町を応援してもらうことが重要になってくる。以下について伺う。

(1) ふるさと寄附を充当した昨年度と今年度の実施事業は。

(2) 寄附者の共感を得られるような充当事業内容の情報発信は。

(3) 具体的な町づくり事業の実現に向け、ガバメントクラウドファンディング（自治体などが事前に事業資金の用途を限定し、賛同者から寄附金を募集する仕組み）の活用の検討は。

町長 **(1)** 主な充当事業は右下の表のとおり。

(2) ふるさと寄附の運用状況は、毎年広報9月号で公表している。ふるさと寄附の募集サイト「ふるさとチョイス」に充当事業の一部を紹介している。今年度、新たにふるさと寄附を複数回行っていただいた方に、ダイレクトメールにより寄附金の使い道や町の紹介、返礼品のパンフレットを郵送する。寄附したことに満足感が得られ、町づくりに共感を抱いていただくよう情報発信に取り組む。

(3) 有効な手法の一つであると考え、先進的に実施する自治体の例を参考に、今後、多くの方々から広く共感を得られるような事業を実施する場合は、その活用を検討したい。

	平成30年度		令和元年度	
頑張る農業を応援する事業	緊急農用地排水改善対策事業	2000万円		
	緊急粗飼料生産基盤対策事業	468万8千円		
オリンピック選手を育てる事業	札内川河川緑地テニスコート改修事業	407万5千円	オリンピアン展示スペース設営事業	650万円
子どもたちを守り育てる事業	保育所等エアコン設置事業	2189万9千円	こども医療費助成事業	1850万円
	給食センター備品等更新事業	2910万5千円	札内東中学校改修工事	1468万8千円
ナウマン象記念館の整備に関する事業			ナウマン象化石骨発見50周年記念事業	210万3千円
町長が必要と認める事業	マイホーム応援事業補助金	4550万円	マイホーム応援事業補助金	4550万円

問 スポーツを軸とした町づくりを進める中でのパークゴルフ振興は

答 コミュニティスポーツとして楽しさを伝える機会の拡充に努める

問 パークゴルフが誕生して36年。町内のパークゴルフを取巻く状況は変化している。本町発祥のパークゴルフを若年層にしっかりと伝え、浸透させていくため、「オリンピアンの町」のパークゴルフとして新たな未来を切り開けるよう、体制の整備を含めて町も積極的に先進的な地域づくりに取り組むことが重要と考え、以下について伺う。

(1) 町内の愛好者の年齢別推移は。

(2) 若年層や未経験者への普及は。

(3) パークゴルフの日の取組は。

(4) 統括する新たな部署を設置する考えは。

町長 **(1)** 日本パークゴルフ協会が公表している愛好者は、国内外で約130万人と推計しており、このうち道内の愛好者は約90万人と推計され、道民の6人に1人が愛好者という計算になる。これを本町に当てはめると、町内愛好者は約4500人の推計となるが、年齢別人口推移など、詳細について町として把握していない。

(2) 平成25年度から世代間や地域間の交流を深める「家族大会」を開催している。今後も関係団体と連携を図りながら、コミュニティスポーツとしての楽しさを広めていく機会の拡充に努めたい。

(3) 平成18年、国際パークゴルフ協会の通常総会において、パークという語呂に合わせて「8月9日」を「パークゴルフの日」に決定された。同日前後の休日に、教育委員会主催の「家族大会」を開催している。

(4) 国内外の普及・振興は「公益社団法人日本パークゴルフ協会」が主導している。町ではパークゴルフの行政視察等の受入れ、家族大会の開催、コースの管理を所管し、幕別町パークゴルフ協会とも連携を図りながら現在に至っている。新たにパークゴルフを統括する部署の設置は考えていない。